

# 駐車場整備事業経営戦略

団 体 名 : 姫 島 村

事 業 名 : 駐車場整備事業

策 定 日 : 令和 3 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 3 年度 ~ 令和 12 年度

## 1. 事業概要

### (1) 事業形態等

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	法非適用	事 業 開 始 年 度	昭和53年度
職 員 数	0人	施 設 名	姫島村伊美港駐車場
種 類	届出駐車場	構 造	広場式
駐 車 場 使 用 面 積	6,562㎡	収 容 台 数	234台
営 業 時 間	6時~19時30分	一 時 間 当 た り の 料 金	—
経 常 収 支 比 率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	H29 99.9%	H30 99.9%	H31 120.1%
稼 働 率 * ※過去3年度分を記載	H29 72.1%	H30 73.3%	H31 —
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	該当ありません。	
	イ 指定管理者制度	該当ありません。	
	ウ PPP・PFI	該当ありません。	

\*  $\left( \frac{\text{一日平均駐車台数} \times \text{一台あたり平均駐車時間}}{\text{収容台数} \times \text{営業時間}} \times 100 \right)$

### (2) 料金形態

料金の概要・考え方	定期駐車のみ(月額 2,130円) 姫島村駐車場の設置及び管理に関する条例施行規則によるもの (令和元年10月1日改正、改正理由:消費税率改定による料金転嫁)
-----------	---

### (3) 施設を取り巻く環境等

本駐車場は、姫島港から船で渡った国東市伊美港に設置されており、姫島へ渡る帰省客や観光客には唯一の駐車場です。施設の規模としては、姫島からの通勤など島民のための定期駐車場(208台)と、帰省客や観光客など村外者のための村外者無料駐車場(26台)があります。また、周辺には個人経営の月極駐車場も点在しており、約250台分が収容可能で主に姫島島民が利用しています。

## 2. 経営の基本方針

姫島からの通勤など島民による定期利用を主体とし、将来にわたり安定的な経営の維持に努めます。また、帰省客や観光客など村外からのフェリー利用者にとっても必要不可欠な駐車場であるため、村外者無料駐車場を整備し、来島者の増大に寄与します。

## 3. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

### ① 収支計画のうち投資についての説明

・広場式の駐車場のため機械設備も少なく、大きい設備投資は発生しない見込みです。  
・毎年維持補修費として10万円程度を計上し、日常的な修繕を行います。

### ② 収支計画のうち財源についての説明

収入は駐車場の料金収入のみで、全て定期駐車であるので毎年同額を計上しています。

### ③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

支出の大部分を占めるのが港湾施設使用料です。他に、施設の維持補修として修繕費と周辺の草刈りに関する費用を計上しています。

(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

\*1 (1)において黒字の場合においても、投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

\*2 複数の駐車場を有する事業にあつては、駐車場ごとの考え方・検討状況がわかるよう記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

投資の平準化に関する事項	広場式の駐車場のため機械設備も少なく、大きい設備投資は発生しない見込みですが、維持補修費として毎年10万円計上し日常的な修繕を行います。
施設等の統合・縮小・廃止に関する事項	施設の利用状況等を勘案し、総合的に判断を行います。
防災・安全対策に関する事項	施設管理を徹底し、不備が見つければ迅速に対応します。
民間の活力の活用に関する事項 (PPP・PFIなど)	経営も黒字で推移しており、現時点では民間委託等は考えていません。
その他	

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金形態に関する事項	経営状況に応じて料金形態の見直しを検討します。
稼働率に関する事項	定期駐車のためのため、安定的な稼働率を維持します。
繰入金に関する事項	料金収入だけでは経営が困難な場合は、一般会計からの繰入金により経営の均衡を図ります。
資産の有効活用に関する事項	村営フェリー専用の駐車場のため、今後もフェリーと一体となって利用促進に努めます。
その他	

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

民間の活力の活用に関する事項 (指定管理者制度、PPP・PFI など)	経営も黒字で推移しており、現時点では民間委託等は考えていません。
職員給与費に関する事項	職員給与費については、同課別会計より支出しています。
委託費に関する事項	経営も黒字で推移しており、現時点では民間委託等は考えていません。
その他	

4. 公営企業として実施する必要性など

\* 複数の駐車場を有する事業にあつては、駐車場ごとの考え方が分かるよう記載すること。

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	姫島港から船で渡った国東市伊美港にあり、姫島からの通勤など島民による定期利用を主体としています。また、帰省客や観光客等のフェリー利用者にとっては唯一の必要不可欠な駐車場です。
公営企業として実施する必要性	島民や観光客等のフェリー利用者にとって必要不可欠な駐車場であるため、公共性と安定性が求められます。また、経営黒字で推移しているため、今後も村営の体制を維持しながら経営の健全化を図る必要があります。

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	毎年度進捗管理を行います。また、必要に応じて見直しを行い、PDCAサイクルを働かせ、収支計画の向上を図ります。
---------------------	---



